

松本市議会議員

中山 英子

スポーツ×芸術文化で松本を躍動のまちへ!

市政活動報告 VOL.1

昨年4月に行われた松本市議会議員選挙で初当選させていただき、一期目の議員として活動を始め1年が過ぎました。新しい役割と業務に追われまくり日々過ごしております。昨年2月に松本パルコの閉店のニュースに直面。中心市街地に生まれ育ち、暮らす一人とし、新しい時代の松本のまちづくりを迫られ、議員として何ができるのか、動きながら試行錯誤し、深く考えた毎日でした。1年間を振り返りながら、活動報告をいたします。



なやまえいこ
PROFILE

- 1970年9月松本生まれ（高砂通・飯田町で育つ）
- 中央幼稚園 → 開智小 → 丸ノ内中 → 松本県ヶ丘高 → 早稲田大
- 信濃毎日新聞記者（1994～2011）
- 長野五輪取材を機にスケルトン選手として海外転戦（1999～2016）
- ソルトレークシティー五輪、トリノ五輪出場
- 株式会社電通 2020東京五輪・パラで海外チームの事前キャンプ実施による全国自治体のスポーツレガシーをプロデュース（2017～2021）
- 社会構想大学院大学地域プロジェクトマネジャー養成課程修了

議会活動

議員1年目の常任委員会は経済文教委員会に所属、「中心市街地活性化」が研究テーマでした。一度閉店したパルコが形を変えオープンしたばかりの熊本市のHUB@と公民連携の先進地北九州市を視察したほか、松本商工会議所商業部会や中心市街地関係者との意見交換を実施。議会基本条例施策推進組織の「部会」は、交流部会に所属。市民との連携で先進的取り組みをする飯田市議会を視察したほか、信大、松工、梓川高やPTA連合との意見交換を行いました。そのほか中信地区3市5村の広域連合議員として活動しています。今年度は厚生委員副委員長を務めます。



経済文教委員会で中心市街地活性化をテーマに熊本市を視察しました。

地域要望の実現

①市道と県道が交差する本町3丁目のスクランブル交差点の車止めに不備があることを住民の方から指摘を受け、4ヶ月後に設置が実現。そのほか、いくつかのインフラ関連の要望を市の担当者に繋ぎ、解決しました。

②6月議会で要望した市立博物館ポケットパークへの深志舞台の展示！

商都松本の象徴の文化財をまちづくりに活用へ顕彰の機会を増やしていきたいです。



③冬の白馬ー松本バス運行実証実験予算化

松本の冬季の観光は課題。9月議会で、白馬村との観光協定を活かし、双方がウィンウィンになるよう「氷と光のフェス」や松本の飲食などに来てもらうべく、白馬と松本を繋ぐ直通の交通手段を要望。実証実験として、期間中一か月間の直通バス往復補正予算が盛り込まれました。（裏面参照）

まちの行事

深志神社、四柱神社の例大祭、豆まき、防災訓練
あめいち、ぼんぼん、地区に行事などに参加しました。



選挙への出馬を公表した直後、自宅から目と鼻の先にある松本パルコ閉店のニュース報道に、身の引き締まる思いに至ったことを昨日のこのように思い出します。松本市がパルコ側と話し合いを持ち公民連携による何らかのパルコの存続などを検討する中、商工会議所や松本商店街連盟からも行政関与を正式に申し入れがありました。パルコ側から1月に提示された案「建物北側部分を20年間で年間3億円で賃貸借」という部分だけが、3月の市長選挙でクローズアップされたことがきっかけとなり、4月にパルコ社から市の関与の正式の断りが入りしました。また、4月には井上百貨店の閉店のニュース。中心市街地の行く末はまったく見えない状況となっております。

パルコについては、松本市側の説明不足やビジョン不足もあったと思う反面、政治利用されていたことを目の当たりにし、あらためて議員の在り方も問われていると強く感じました。松本市は昨年、「住みやすさと自然環境が魅力の

パルコ閉店報道から1年： 未来の中心市街地と 松本のまちはいかに?!

Eiko's Column

戦略的観光都市」として森記念財団の調査で全国8位にランクインしました。これは松本のまちを作ってきた先人の精神性が今に残る証だと感じます。失われつつある大切なものをより守る努力をしながら、10年先の20年先の将来、松本・中信地域一帯に住む人が幸せで、多くの人たちが訪れる魅力ある空間としての中心市街地を、あらためて作り直していくよう、民間、行政の方々と対話を進め、それぞれを繋いでまいりたいと思います。「松本をよくする」仲間の輪をひろめる努力をしてまいります。どうぞよろしくおねがいいたします。



「スポーツ×芸術・文化 躍動の松本へ」向け、市政一般質問



～ 令和5年度 市政一般に対する質問 ～

議会のメインとなる定例会は、6月、9月、12月、3月(今年は2月)の年4回、3週間前後にわたって行われます。本会議では議案審議のほか、市政一般に対する質問時間が各議員に与えられ、市の具体的な事業等に対する意見や要望、提案を行います。令和5年度は全4回、質問に立ちました。



松本往復バスのPRへ、ホテル旅館組合、商店街組合の方と一緒に白馬村のインバウンドに向けてプロモーションに行きました。

6月定例会

① 商都松本について

要旨1：松本パルコ撤退に絡む中心市街地の在り方
要旨2：文化財を活かした商都松本の再構築

松本パルコ閉店を控え、市の考える中心市街地の将来ビジョンの具体像を質問すると共に、パルコ跡の空洞化への不安、品格を失わないエリアを保持してほしいという商都を支えた人たちの思いを伝え、聴取を要望。

② 国民スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会(2028年)について

要旨1：両大会とまちづくりについて
要旨2：誰もがスポーツできる環境の整備

47年に1度の両大会をまちづくりのチャンスと捉え、一過性にしないことを訴えました。SDG's 未来都市指定を受けている松本市が「誰も取り残さない」ユニバーサルデザインを重視したまちを目指してほしいことを市長へ要望、決意を聴きました。障害者がスポーツしやすい環境、また移動や観光がしやすいまちは、高齢者も生活しやすい環境にも繋がります。松本市が率先してそんなまちづくりをしてほしいと願い、提案しました。



9月定例会

「ガク都」松本の魅力を活かした観光戦略

要旨1：白馬村、長野市と本市で結んだ「連携協定」の進捗について
要旨2：松本市の冬の観光と、今年度の光と氷の城下町フェスティバルについて
要旨3：松本市観光ビジョンの見直しと、松本観光コンベンション協会のあり方について

表ページ参照。実現はしたものの、実証実験結果は思わしくなく、広報戦略や商業、まちとの連携など、取り組みに課題があることを感じました。



12月定例会

スポーツと文化・芸術を活かした共生のまちへ

要旨1：パラスポーツ拡充に向け部局を越えたプラットフォーム作りについて
要旨2：心のバリアフリーを目指した「パラリンピック教育」について
要旨3：共生社会化に向けた松本の芸術文化の在り方

2028年に開催される国民スポーツ大会と全国障害者スポーツ大会に向け、芸術文化や教育などソフト面での共生社会化を目指した取り組みについて、東京オリパラでも広がった学校教育での「パラ教育」の普及を要望。また、障がい者アートを用いた画期的な居場所作りをしている民間の取り組みを紹介、今後の市のまちづくりと連携を提案。



パラ教育を取り入れている山辺小へ、パラアスリートらが実施する授業を見学に行きました。

まちなかで行われたナナイロ主催の対話アートイベントに参加



2月定例会

松本のまちづくりと松本パルコ閉店後の複合施設について

要旨1：まちと行政のコミュニケーションについて
要旨2：施設の方向性とまちづくりについて
要旨3：人材の育成、人づくりについて

1月末に松本パルコから受けた賃貸借に関する提案を受け、公民連携施設を前向きに進めるにあたり、中心市街地の住民の立場からこれまでの行政との関係を振り返り、コミュニケーションをもっと綿密に取ることを要望。公民連携のまちづくりを成功させている八戸市等の事例を紹介したほか、新たなまちづくりの成功に欠かせないのは人材育成であり、市職員の人材戦略の見直しを要望しました。



松本市議会議員 **中山 英子**

スポーツ×芸術文化で松本を躍動のまちへ!

市政活動報告 VOL.1

編集発行 / 中山英子後援会



中山 英子 検索

https://nakayama-eiko.com



「中山英子と松本を熱くする会」後援会から寄付のお願い

松本のまちの未来像を市民の皆様と描き、活動するために、このたび、後援会組織「中山英子と松本を熱くする会」を設立いたしました。議会後の市政報告会や意見交換会を開いてまいりたいと思います。活動を支えるために、ご寄付での協力も何卒宜しくお願い致します。ご寄付いただける方は、中山英子公式ホームページ、またはLINE 公式よりご連絡ください。

